

「豪雨災害、土砂災害に備えよう!!」

日常生活の中で危険な場所をハザードマップで調べておきましょう。



◆静岡市防災情報マップ

地図は画像を利用して、静岡市内における地震、風水害等の災害による被害の想定に関する情報や津波避難ビル、避難所等の避難に関する情報を公開・提供するサイト。

スマートフォンサイト



防災情報ここから探そう!

静岡市では、様々な方法で“防災情報”を提供しています。

◆電話案内サービスから（一般・携帯）

0180-99-5656

同報無線の放送内容を再生します(放送後2時間)



◆ラジオから（コミュニティFM）

葵区・駿河区 → 76.9MHz
清水区 → 76.3MHz

緊急時には、番組を中断して放送をします。地域に密着した情報をお伝えしています。



◆携帯電話・スマートフォンへ

緊急速報メール

緊急地震速報や津波警報、災害・避難情報を、携帯電話会社から市内の携帯電話・スマートフォンに一斉配信するシステムです(登録不要)



静岡市防災メール

あらかじめ登録した携帯電話・PC・スマートフォンに気象情報などの防災情報をメール配信します。



登録用 QRコード

◆同報無線から

“防災情報”をお伝えする同報無線は設置から40年。その間、建物の高層化等により、音が反射してしまったり、建物の遮音性が良くなったことで、屋内では防災情報が伝わりにくい環境となっています。また、ゲリラ豪雨など強い雨では、音声がかき消されてしまうこともあります。

◆インターネットを使って“防災情報”を調べましょう

気象庁では、“今”の情報から“今”を調べる。

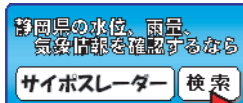


◆静岡県内の水位・雨量・防災情報発信サイト



●パソコンで

<http://sipos.pref.shizuoka.jp/>



「サイポスレーダー」と検索してもアクセスできます。

●携帯電話で

下のコードを携帯電話で読み取ってください。携帯電話版サイポスレーダーにアクセスします。



あなたのご意見・ご要望をお聞かせください。

●ご連絡先 公明党静岡市議会ホームページ www.shizuoka-komei.jp
メールアドレス: komeito-shizuoka@iaa.itkeeper.ne.jp



KOMEITO SHIZUOKA-CITY

公明党静岡市議会だより



長島 強



大石 直樹



井上 智仁



山本 彰彦



山梨 涉



加藤 博男

【田辺市長にワクチン接種に関する緊急要望を提出(5月19日)】



■ごあいさつ

2021年4月、公明党静岡市議会は改選後新たなスタートを切ることができました。私たちは、これまでコロナ禍において直面する課題に対し、緊急提言を重ねながらコロナ対策をリードしてきました。今後も皆さまのご意見・ご要望を受け止め対応してまいります。

また、2023年度(令和5年度)から『第4次静岡市総合計画』が始まります。市民の皆さまの命と暮らしを守るためさらなる挑戦を開始してまいります。

新体制の紹介

◎委員長 / ○副委員長

代表 / 山本 彰彦 幹事長 / 井上 智仁

議会運営委員 / 山梨 涉

常任委員会

総務委員会 : 大石 直樹
市民環境教育委員会 : ◎長島 強
厚生委員会 : 山本 彰彦
観光文化経済委員会 : 山梨 涉
都市建設委員会 : ○加藤 博男
企業消防委員会 : 井上 智仁

特別委員会

デジタル社会推進特別委員会 : ○山本 彰彦
 : 山梨 涉
中山間地調査特別委員会 : 大石 直樹
まちづくり拠点調査特別委員会 : 加藤 博男
総合交通政策特別委員会 : 井上 智仁

附属機関等委員

競輪運営協議会 : 山本 彰彦
都市計画審議会 : 井上 智仁



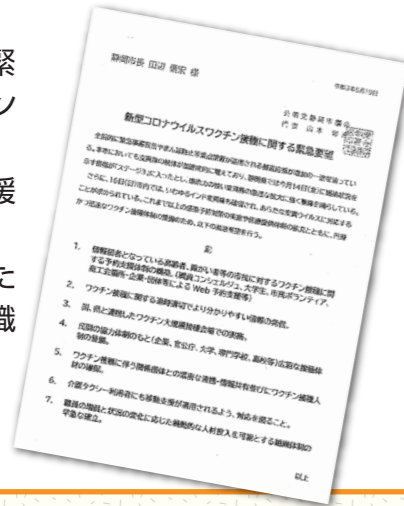
～新型コロナウイルスワクチン接種について～

5月19日市長に対し「新型コロナウイルスワクチン接種に関する緊急要望」（1面写真）を行い、大規模の特設集団接種会場の設置や予約支援体制の構築などが実現しました。



【緊急要望項目】

1. 情報弱者となっている高齢者、障がい者等の市民に対するワクチン接種に関する予約支援体制の構築。（職員コンシェルジュ、大学生、市民ボランティア、商工会議所・企業・団体等によるWeb予約支援等）
2. ワクチン接種に関する適時適切でより分かりやすい情報の発信。
3. 国、県と連携したワクチン大規模接種会場での実施。
4. 民間の協力体制のもと（企業、官公庁、大学、専門学校、高校等）広範な接種体制の整備。
5. ワクチン接種に伴う関係団体との緊密な連携・情報共有並びにワクチン接種人材の確保。
6. 介護タクシー利用者にも移動支援が適用されるよう、対応を図ること。
7. 職員の増員と状況の変化に応じた機動的な人材投入を可能とする組織体制の早急な確立。

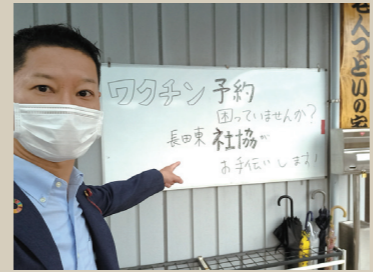


【予約支援体制の構築】

地域住民が主体となって支援ができるようサポートのための出前講座が開設されました。各地でこれを利用した予約支援隊が活動を開始しました。



ワクチン接種予約のお手伝いを市職員が行うウェブ予約支援窓口が各区に設置されました。



【大規模の特設集団接種会場が設置されました】



旧静岡マルイ内視察風景



ツインメッセ静岡

●65歳以上の接種状況

(6/29時点)

対象者数①	接種目標(対象者×0.8)	1回目予約済数②		予約率②/①	1回目接種数③	2回目接種数④
218,889人	175,112人	7/10までシステム内	100,896人	68.9%	102,049人	40,675人
		7/10まで医療機関独自枠、高齢者施設	49,865人			
		7/11~25※	29,602人	13.5%	接種率③/① 46.62%	接種率④/① 18.58%
		計	180,363人	82.4%		

※本人の希望により、7/11~25（1回目）の接種枠を予約した方

●64歳以下の接種の今後のスケジュール

8/2から段階的に予約開始
8/12から特設集団接種会場（ツインメッセ静岡、清水マリナターミナル）で接種開始予定（接種希望者の接種券は7/2から順次発送11月末接種完了予定）

年代別	対象者数	発送予定	配送完了予定	予約開始	接種開始
60~64	41,000	7/2	7/3	8/2から順次	8/12から特設集団接種会場 8/16から個別接種 その他の集団接種会場
55~59	45,000	7/6	7/10	8/2から順次	
50~54	52,000	7/8	7/12	8/4から順次	
12~49	274,000	7月末まで（調整中）		8/6から順次	
計	412,000	注）ワクチンが必要数確保されることが前提			

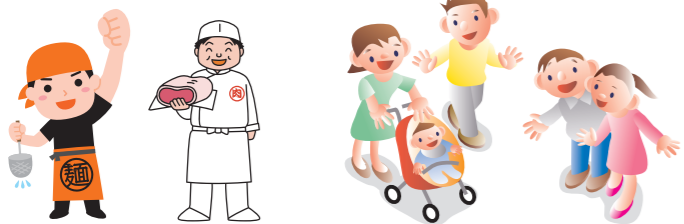
静岡市議会6月定例会が開催され、コロナ対策にかかる補正予算など市長提出議案9件が可決されました。

令和3年度6月補正予算 51億8,856万円

市民の「2つのLife」を守るため、新型コロナウイルス感染症対策として「市民の安全・安心の確保」及び「地域経済の活性化」を柱に予算を編成

【主な事業】

- ★市民への円滑なワクチン接種に結びつけるため、コールセンター等の体制を拡充するとともに、高齢者の接種の加速化を実施。
新型コロナウイルスワクチン接種事業 40億9,900万円
- ★中小企業等が感染拡大防止策を講じ、事業継続力を強化するために必要な支援を実施
中小企業等業務継続強化事業費助成 1億円
- ★低所得の子育て世帯（ひとり親世帯分給付金の対象世帯以外）に対する生活支援を実施
子育て生活支援特別給付金給付事業 4億5,400万円
- ★地域経済の活性化（消費拡大、観光需要の取り込み等）
モバイル決済サービスを活用した地元消費拡大促進事業 4億2,300万円
地域消費促進事業費助成 1億円
県内マイクロツーリズム推進事業 1億円



【総括質問】

【地域経済の活性化、ワクチン接種事業、介護保険について】 加藤 博男



地域経済の活性化に向けて「匠宿」のリニューアルオープンについて質問。田辺市長より地元食材を利用したカフェ、駐車場の無料化、歴史ある「まちづくり拠点」として発信したいとの答弁がありました。ワクチン接種事業では、12歳～64歳のすべての方へ7月中旬に接種券の発送や8月からのシステム改善、優先接種順等の旨の答弁があり、介護保険関連では、福祉用具購入と住宅改修について、今年12月から新たに介護保険給付分を差し引いた額のみを利用者が事業者を支払う「受領委任払い制度」を開始する旨の答弁がありました。

【総合計画、人工海浜、奨学金、居住支援について】 山梨 渉



静岡市の将来あるべき姿と進むべき方向を示す第4次静岡市総合計画について質問しました。市長から「経済、社会、環境の3つの側面が調和した持続可能な都市を目指すため、SDGsをツールとして組み込み、グリーンとデジタルを総合計画の根幹をなす視点として持ち策定を進める」との答弁があり、定住人口70万人に匹敵する人口活力を維持していくことが示されました。新興津地区人工海浜緑地整備の推進、奨学金の返済支援拡充、住まいの確保に困難を抱える人に対する居住支援について質問、要望しました。

【常任委員会】

【総務委員会】 大石 直樹



総務委員会では陳情1件、議案1件の審査を行いました。総務委員会に付託された議案は、マイナンバーカードを利用したキャッシュバック制度の利用に必要なマイキーIDの設定支援に関する予算と新型コロナウイルス感染症関連施策基金への積立金、10月に執行予定の参議院議員補欠選挙実施に伴う執行経費などの補正予算議案を審議しました。これらの議案はいずれも可決すべきものと決定いたしました。

【厚生委員会】 山本 彰彦



請願1件・陳情2件、議案3件の審査を行いました。議案審査では、桜ヶ丘病院の移転に関する「修正案」が提出されましたが、清水区の医療の維持・確保、質の向上など市民に安心感を持って頂けるように、早期移転が必要という観点から「修正案」に反対しました。また、ワクチン接種に関して、これまで多くの課題があり、課題への対応と推進本部の体制の見直し、さらに予約から接種まで円滑に事業が実施できるように要望しました。

【市民環境教育委員会】 長島 強



市民環境教育委員会委員長として初めての委員会に臨みました。今回委員会に付託された議案は、新たに整備する沼上最終処分場における設計業務などを増額する予算、修学困難な学生や生徒に対する篤志奨学金の給付対象者増加に伴って増額する予算などの補正予算と清水両河内小中一貫校整備に伴う小学校棟校舎増築等に関する工事請負契約の締結など3件でした。この3件の議案は採決の結果、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

【企業消防委員会】 井上 智仁



企業消防委員会では上下水道及び消防に関する審議を行いました。6月定例会に上程された議案は「はしご付消防ポンプ車の購入について」の1件で、駿河消防署東豊田出張所に配備されているはしご車の更新案件です。2億1714万円と高額になりますが、市民の安心安全のためには不可欠なものであり、全会一致で賛成となりました。今後も市民の安心安全を守るため、車両や機器の整備を計画的に行っていただきたい旨を要望しました。